

会 議 録 (1)

会議の名称	入間市男女共同参画審議会第2回会議
開催日時	令和6年10月17日(木)午後2時30分～午後4時25分
開催場所	入間市市民活動センター 活動室1
議長氏名	入間市男女共同参画審議会会長 関根 靖光
出席委員氏名	河合 麻予 委員 川名千鶴子 委員 木村 仁美 委員 小林 由利 委員 関根 靖光 委員 塚本 淳 委員 中林 敦子 委員 平尾 美佐 委員 星野ふみ子 委員 松永 孝子 委員 宮澤 聖二 委員
欠席委員氏名	磯田 尚美 委員 金岡 広道 委員 田邊ひろ子 委員 門原 健男 委員
説明者氏名	人権推進課長兼男女共同参画推進センター所長 上原 久雄 人権推進課 副主幹 宮澤 裕子 主任 新 萌里 主事 豊泉 寿祈 主事補 今泉 優大
会議次第 (公開・非公開の別)	【会議】 1 開会 2 会長あいさつ 3 議事(公開) (1)第5次いるま男女共同参画プラン令和5年度実施状況の評価について (2)市民意識調査の実施について (3)その他
傍聴者数	なし
配布資料	・会議次第 ・資料1 令和5年度第5次男女共同参画プラン第二次評価(案) ・資料2 二次評価に寄せられた質問等への回答について ・資料3 平成27年度市民意識調査 ・資料4 令和2年度市民意識調査 ・資料5 令和7年度市民意識調査(案) ・資料6 男女共同参画プラン取組状況評価一覧【令和5年度】修正版 ・その他 入間市男女共同参画審議会第1回会議録 イルミンまつりチラシ 第21回入間郡市人権フェスティバルチラシ
事務局職員 職氏名	市民生活部長 片寄 貴之 市民生活部次長 竹廣 由美 人権推進課長兼男女共同参画推進センター所長 上原 久雄 人権推進課副主幹 宮澤 裕子 人権推進課主任 新 萌里 人権推進課主事 豊泉 寿祈 人権推進課主事補 今泉 優大
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要(経過)・決定事項

【議事(決定事項)】

- (1) 第5次いるま男女共同参画プラン令和5年度実施状況の評価について
第5次いるま男女共同プラン二次評価(案)について、審議委員から提出された評価を基に事務局案を作成し、事務局より説明を行い、審議委員による意見を伺った。また、二次評価に寄せられた質問等への回答について、事務局より説明を行った。

(関連資料)

- 資料1 令和5年度第5次男女共同参画プラン第二次評価(案)
資料2 二次評価に寄せられた質問等への回答について

(2) 市民意識調査の実施について

令和7年度に実施する市民意識調査の事務局案について、事務局より説明を行い、令和6年11月8日(金)までに審議委員による意見を伺い、それを基に事務局案を再度作成し、次回の審議会において審議することを決定した。

(関連資料)

- 資料3 平成27年市民意識調査
資料4 令和2年度市民意識調査
資料5 令和7年度市民意識調査(案)
資料6 男女共同参画プラン取組状況評価一覧【令和5年度】修正版
入間市男女共同参画審議会第1回会議録
イルミンまつりチラシ
第21回入間郡市人権フェスティバルチラシ

以上

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
司会（新主任）	1 開 会
	令和6年度入間市男女共同参画審議会第2回会議を開会する。
関根会長	2 会長あいさつ 会長あいさつ
新主任	3 議 事
	入間市男女共同参画推進条例に基づき、関根会長を議長とし、議事進行をお願いする。
議 長	条例第20条の規定により定足数に達しているため、会議は成立する。 会議の公開の決定について事務局から説明を願う。
新主任	入間市では開かれた市政の推進のため、市民に対して審議会の会議の状況を明らかにして透明性を確保していることから、審議会の公開を原則としている。各審議会の公開非公開の決定については、会長が審議会に諮り、意見を伺いながら、決定していくことになっている。男女共同参画審議会を引き続き公開し、運営していきたいため、委員の皆様のご理解を賜りたい。
議 長	異議はあるか。
(一同)	異議なし。
議 長	男女共同参画審議会は公開とする。傍聴人の入室を願う。
豊泉主事	本日の傍聴者はなし。
議 長	本日の会議録については、「標準会議録作成要領」に基づき作成する。
豊泉主事	署名委員は、名簿順3番目の河合委員をお願いする。

会 議 録 (8)

<p>議 長 宮澤副主幹</p>	<p>(1) 第5次いるま男女共同参画プラン令和5年度実施状況の評価について (1) について、事務局に説明を求める。 令和5年度第5次男女共同参画プラン 基本目標1の二次評価(案)について説明。 (資料1 基本目標1 課題1について説明)</p>
<p>議 長</p>	<p>ただいまの説明について、質問・意見はあるか。 意見・質問なし。</p>
<p>宮澤副主幹 議 長</p>	<p>(資料1 基本目標1 課題2について説明) ただいまの説明について、質問・意見はあるか。 リプロダクティブヘルス/ライツに対して低学年向けの動画配信とは、どのような動画なのか。</p>
<p>上原課長</p>	<p>低学年の保護者向けの内容の動画となっている。</p>
<p>宮澤副主幹 議 長</p>	<p>(資料1 基本目標1 課題3について説明) ただいまの説明について、質問・意見はあるか。 意見・質問なし。</p>
<p>宮澤副主幹 議 長</p>	<p>(資料1 基本目標1 取組の指摘事項・改善点について説明) ただいまの説明について、質問・意見はあるか。</p>
<p>中林委員</p>	<p>「全体的に多様性を推しすぎて秩序を乱さないか不安を覚えます」のところだが、多様性が絡むと秩序が乱れるということは非常に危険だと思われる。外国人と犯罪の増加を結び付けて治安が悪くなるといった偏見に基づく評価になりかねないため、この部分は修正していただきたい。</p>
<p>上原課長</p>	<p>多様性を認め合うことについて、誤解を招かないような文言に修正する場合は、審議会委員の意見を伺い決を採っていただきたい。男女プランでは多様性を認め合うことを目標としているため、事務局では修正が必要であると考えている。</p>

会 議 録 (8)

河合委員	記載されている意見は、コピーアンドペーストか。
宮澤副主幹	審議会委員の意見だが、委員の意見が重なる場合は、合わせている部分もある。
上原課長	審議会の中で修正するとの意見があれば、事務局で表現を変えた形で修正するが、それで良いか。
塚本委員	趣旨を変えずに修正するということか。
上原課長	多様性に関して様々なことから不安に思う方もいるので、その不安も今後は認め合う形で啓発や推進を進めていくと言った表現に修正するが、細かい表現方法は、事務局に一任する方向で良いか。
議 長	事務局に任せる。
上原課長	事務局で表現方法を作成し、審議会委員に示す。
議 長	事務局で修正をお願いする。
宮澤副主幹 議 長	(資料1 基本目標2 課題1について説明) ただいまの説明について、質問・意見はあるか。 意見・質問なし。
宮澤副主幹 議 長	(資料1 基本目標2 課題2について説明) ただいまの説明について、質問・意見はあるか。 意見・質問なし。
宮澤副主幹 議 長	(資料1 基本目標2 課題3について説明) ただいまの説明について、質問・意見はあるか。 意見・質問なし。

会 議 録 (8)

<p>宮澤副主幹 議 長</p>	<p>(資料1 基本目標2 取組の指摘事項・改善点について説明) ただいまの説明について、質問・意見はあるか。</p>
<p>小林委員</p>	<p>1点目「どんな男性の職場においても男性の育児に対しての考え方が広く持てるように支援して欲しい」のところで、分かりにくく感じたため、「男性の多い職場においても男性の育児への理解が深まる支援をして欲しい」といった表記へ変えて頂きたい。</p> <p>2点目「リーダーに女性をつけることに疑問を感じる」とあるが、女性をクローズアップしていくことで、女性がリーダーになるには男性よりもっと特殊な能力やスキルが必要なのではないかという意見だと思われ、書き方を変更してはどうか。</p>
<p>小林委員</p>	<p>1点目「男性が多い職場においても、男性の育児への理解が深まるような支援をして欲しい」に修正をお願いする。</p>
<p>上原課長</p>	<p>事務局で修正する。</p>
<p>川名委員</p>	<p>2点目は課題があったので私が書かせて頂いた。女性にリーダーを付けることは、女性リーダーになるための他の方法があるのではないかと感じられるネーミングである。そのため、埼玉県では女性リーダー養成講座ではなく、女性リーダー応援講座という講座の名前を付けて事業を行っている。</p>
<p>木村委員</p>	<p>リーダーに女性と付けることが不適切ということか、あるいは女性リーダーという言い方が不適切ということか。</p>
<p>川名委員</p>	<p>リーダーが不適切ということではない。リーダーには、女性も男性もいるので、リーダーに女性を付けて講座を行うことに疑問を感じる。</p>
<p>上原課長</p>	<p>女性リーダー養成講座は、男女センターで実施している事業である。女性リーダー養成講座を受講した方で修了者名簿に記載し、本人の了解により庁内の各審議会に紹介している。入間市の</p>

会 議 録 (8)

	<p>男女プランには、審議会委員の35%以上を女性の審議会委員の登用拡大に向けた目標があり、講座を実施し修了者を各審議会に紹介することについて事務局としては有効だと考えているが、審議会として意見があれば修正する。</p>
小林委員	<p>修正することに賛成である。</p>
川名委員	<p>リーダーと書いてあるが、言葉が足りないという意見もあるかと思う。</p>
上原課長	<p>事務局で意見を踏まえて修正する。</p>
宮澤副主幹 議 長	<p>(資料1 基本目標3 課題1について説明) ただいまの説明について、質問・意見はあるか。</p>
宮澤委員	<p>阪神淡路大震災や東日本大震災、能登半島地震での女性の視点が避難所開設に生かされていないことがニュースで取り上げていた。性教育が足りないこと、トイレに囲いがいいこと、授乳室がないこと等、これはとても大事なことである。また、災害はいつ来るかわからないものであり、防災会議が開かれていない理由について、主管課に対して男女共同参画審議会からの意見として強く伝えて頂きたい。</p>
宮澤副主幹	<p>入間市防災会議は、入間市防災条例に定め、埼玉県警察官、埼玉県西部消防組合や防災会等、40名の会員で構成しており、主な事務は、防災計画の作成や地域に係る防災の重要事項を審議する会としている。令和5年度に防災会議を開催していない理由について担当課に確認したところ、防災計画の変更や法律に基づく変更が生じないため開かれていない状況である。</p>
宮澤委員	<p>防災会議の開催回数は分かった。では、現場に則した避難所の設定や男性委員が多いことなど、どこの誰が検討するのか。女性委員を増やして、多くの人々が光り輝ける活躍ができるような体制</p>

会 議 録 (8)

<p>上原課長</p>	<p>を築くためには、どうしたらよいと考えているのか。</p> <p>宮澤委員の指摘事項のプランの実施課は危機管理課であり、避難訓練などの取り組みを踏まえた男女の参画への取り組みについては、危機管理課で実施する形となる。</p>
<p>片寄部長</p>	<p>審議委員の意見である二次評価は、全庁的にフィードバックさせて頂く。本年度の防災訓練は11月10日となるが、118自治会が各避難所で訓練する中でも女性に配慮すべきことや足りていないことが沢山ある。また、目が見えない方、犬を連れていく方など防災訓練を経て、反省に基づき更に入間市の防災が高まるように危機管理課と協議を行うので理解を願う。</p>
<p>議 長</p>	<p>約束できる立場の方か。</p>
<p>片寄部長</p>	<p>今年度の防災訓練では、各地区センターや、避難所ごとに計画を立てている。各自治会では、トイレの問題は防災の観点で講習等も計画しており、必ずフィードバックしていく。女性委員を増やしていく部分もあるので、今後どうして行くべきか、会議終了後に危機管理課へ皆様からの意見は人権推進課を所掌する部長として伝えておきます。</p>
<p>宮澤副主幹 議 長</p>	<p>(資料1 基本目標3 課題2について説明) ただいまの説明について、質問・意見はあるか。</p>
<p>塚本委員</p>	<p>一行目のパープルリボンの表記の修正をお願いします。</p>
<p>宮澤副主幹 宮澤副主幹 議 長</p>	<p>事務局で修正する。 (資料1 基本目標3 課題3について説明) ただいまの説明について、質問・意見はあるか。 意見・質問なし。</p>
<p>宮澤副主幹</p>	<p>(資料1 基本目標3 取組の指摘事項・改善点について説明)</p>

会 議 録 (8)

<p>議 長</p>	<p>ただいまの説明について、質問・意見はあるか。</p> <p>緊急時に高齢者は、足手まといになるので、避難時には高齢者を置いて逃げるようにと聞いたことがある。東北でも同じケースが多く、弱者の避難は、日頃から訓練していないと難しいのではないか。実際に東日本大震災の時に呆然と立って女性が津波に巻き込まれる寸前だったケースを見かけたそうである。災害の規模によって違うが、弱者の家庭以外に町内等で話し合う場や訓練が必要かもしれない。</p>
<p>上原課長</p>	<p>市民生活部長から、防災訓練の時や反省会の席で危機管理課へ伝えるので、ご理解いただきたい。</p>
<p>宮澤副主幹 議 長</p>	<p>(資料1 基本目標4 課題1について説明)</p> <p>ただいまの説明について、質問・意見はあるか。</p> <p>企業に対する働きかけは難しいが、野放しにしてはいけないのではないか。</p>
<p>上原課長</p>	<p>女性活躍推進事業は、国や県が事業を行っている。改めて議論し、担当課として判断したところ、県が行う取組を進めることになった。</p>
<p>議 長</p>	<p>特定事業主行動計画は、女性活躍推進法の柱になっているので周知に力を入れるだけでなく、実行していく必要があるが、市では可能か。</p>
<p>上原課長</p>	<p>人事課が担当になる。女性の管理職の割合などを決めて推進していく形になる。</p>
<p>宮澤副主幹 議 長</p>	<p>(資料1 基本目標4 課題2について説明)</p> <p>ただいまの説明について、質問・意見はあるか。</p> <p>意見・質問なし。</p>
<p>宮澤副主幹</p>	<p>(資料1 基本目標4 課題3について説明)</p>

会 議 録 (8)

<p>議 長</p>	<p>ただいまの説明について、質問・意見はあるか。 意見・質問なし。</p>
<p>宮澤副主幹 議 長</p>	<p>(資料1 基本目標4 取組の指摘事項・改善点について説明) ただいまの説明について、質問・意見はあるか。</p>
<p>河合委員</p>	<p>人権擁護委員として、希望があれば小・中学校に出向き、人権の大切さを広める人権啓発活動をしている。活動回数は多いと思うので、少ないと書かれている部分を修正して頂きたい。</p>
<p>川名委員</p>	<p>イルミンへの登録団体は、100団体のうち、人権、子ども、高齢者に分類すると、人権問題として活動している市民団体は今のところありません。市民活動団体としての意味合いで書かせて頂いた。</p>
<p>上原課長</p>	<p>河合委員と小林委員は、人権擁護委員として活動をお願いしている。各小学校に年間7～8回まわる人権教室や毎月第2月曜日の午後に人権相談啓発活動にも協力頂いており、文言を一部代えて誤解が生じないように修正させて頂きたい。</p>
<p>宮澤委員</p>	<p>資料1、資料2は事前に配布して頂きたかった。また、防災会議の意見の部分に市民生活部長が危機管理課に伝えるという話があったが、そのことは報告書に加えた方が良いのではないか。</p>
<p>上原課長</p>	<p>資料2は、今後は早めに作成し事前に送付する。</p>
<p>片寄部長</p>	<p>防災に関する審議委員からの意見や防災訓練の際に多くの視点を取り入れるよう各避難所に依頼する。</p>
<p>塚本委員</p>	<p>委員の発言の中で、二次評価表の中に記載することは反対である。記載するのであれば、議事録の中に残すという形が適切ではないか。</p>

会 議 録 (8)

上原委員	<p>評価表については、報告書にとりまとめて各課に配布する。同時に市公式ホームページに、会議資料と会議録を公開する。</p>
塚本委員	<p>委員のやりとりの意見であって、審議会で議論する話ではなく、一委員の意見だと思う。</p>
上原課長	<p>評価の中で、市民生活部長が担当課に対して指導すると発言している。事務局としては、載せる必要はないと思う。今日審議いただいた評価結果を各課に示すことで理解頂きたい。また、議論については、会議録を作成して公開する。</p>
議 長	<p>関係する課同士が直接交流する機会はないのか。</p>
上原課長	<p>以前、各担当課を呼んで職員に聞いたことはあるが、各課との調整が難しい状況である。</p>
議 長	<p>事務局に説明を求める。</p>
宮澤副主幹	<p>男女共同参画プラン取組状況評価一覧表【令和5年度】修正版について説明 (資料6に基づき説明)</p>
小林委員	<p>14頁の「若者層における暴力の防止に関する啓発」の学校教育課のところだが、実施状況の記載をすところ、今後の目標のような決意答弁を記載しているため、修正してはいかがか。</p>
宮澤副主幹	<p>担当課に確認して修正する。 資料1の修正については、事務局に一任させて頂き、事務局で修正する。委員の皆様は、郵送で評価の決定させて頂く。また、この決定した評価は、遅くとも年内に各主管課の方に報告し、ホームページに公表するので、郵送にて承認して頂きたい。 資料2は、委員からの質問事項をまとめた資料になる。また、評価方法について多数の意見を頂いたが、評価方法を変更する場合には審議会で審議して頂くことになる。評価方法については、</p>

会 議 録 (8)

	<p>今後の課題とさせていただきます。</p>
議 長	<p>(2) 市民意識調査の実施について</p>
宮澤副主幹	<p>(2) について、事務局に説明を求める。</p>
議 長	<p>(資料3、4、5 に基づき説明)</p>
宮澤委員	<p>質問、意見等はあるか、</p>
	<p>前回、前々回の市民意識調査の回答率はどれくらいか。</p>
	<p>また、入間市の人口が14万人に対して18歳以上市民は何人いるのか。18歳以上の入間市の人口のうち、2千人は何%になるのか。2千人で50%の回答率で1千人となるが、計画を立てるときの基礎資料として、14万分の2千人は、最大公約数になり得るのか。</p>
上原課長	<p>統計法では、人口割合が決まっている。入間市の人口の場合には、2千通で問題はない。意識調査の通数の増加は、予算的にも厳しいので、2千通よりも多く郵送することは考えていない。</p>
片寄部長	<p>入間市の人口が14万人、15万人の場合、サンプルとして2千通取ると、信頼度が95%以上になると思われる。</p>
宮澤委員	<p>14万人、15万人であれば、2千通として満たしているということか、また、回収率はどれくらいを考えているか。</p>
上原課長	<p>2千通送って50%の回収率があれば信頼度があることになる。50%を大幅に超えるのは難しい、信頼度として44%（令和2年度回収率44.1%）であれば、ある程度は反映できると考えている。</p>
川名委員	<p>QRコードがあれば、増えるのではないか。</p>
上原課長	<p>来年度は、QRコードによる回答を検討している。質問項目が多すぎると、回答率が下がる傾向があるため、それを考慮しての</p>

会 議 録 (8)

<p>議 長</p> <p>豊泉主事 今泉主事補 新主任</p>	<p>意見をお願いする。なお、3回目の審議会で調査票をお示しする。</p> <p>他に、質問・意見はあるか。 意見・質問なし</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・第21回人権フェスティバルについて・パープルライトアップについて・イルミンまつりについて・報償費と費用弁償について・次回の審議会の日程について、令和7年1月23日(木)午後2時30分から市民活動センター活動室1にて開催する。 <p>5 閉会</p> <p>副会長あいさつ</p> <p>以上で本日の会議は全て終了する。</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和7年 / 月 18 日</p> <p>会 長 <u>関根 靖光</u></p> <p>委 員 <u>河合 麻子</u></p>	

